

# バズの膝が折れた

ゆきや (2021. 02. 18)



両方の膝が折れたバズが来ました。  
写真は治った後のバズの雄姿です。

膝の痛みを抱える人はあまりにも多いですね。  
バズもまた例外ではありません。  
お子さんが、太ももとすねを持って、両手でバキバキッとされるのですから、膝も堪ったものではありません。

バズでは、太ももとすねを球形の膝でつないでいますが、動かせるのは前後の方向だけです。(赤丸印)  
それを左右にもひねって、折ってしまうのでしょう。

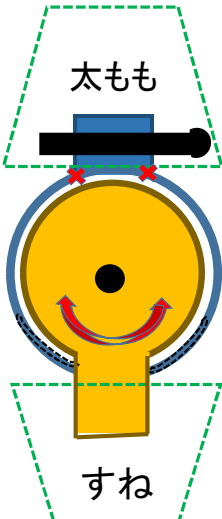


(写真左) 傷んだ左膝です。私が以前修理した物でした。  
折れた所を接着し、ステンレス線で4カ所つないで補強したのですが、もともとステンレス線を通せるスペースが非常に狭くまた薄く、結局そこが無残に千切れています。

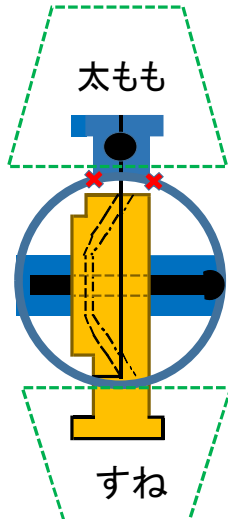


(写真右)  
右膝は新しい傷です。  
左ひざと全く同じ所が、折れています。  
いわば、ここがバズの膝の泣き所なのでしょう。

横から見ると



前から見ると



バズの膝の概念図です。

球形の上の突起は太ももに固定されます。  
赤X印の所が最も壊れやすいのです。

球形の中に収められたデンデン太鼓型の円板は下に突き出て、すねに固定されます。  
球形の合わせ目の下半分に、スリットが切られていて、太鼓型は赤矢印のように回転します。これで膝が屈伸するのです。



デンデン太鼓型の中には、すり鉢の様な刻み目のついた円盤が向かい合っていて、クリクリッと動きます。

このメカで、膝が節度ある動きをするのです。

問題は、子どもさんの手で、限度を超える力が加えられた時に、破断が起きるのです。



ただ下の突起は結構太く、また回転する事で力が逃げるので、上の突起に比べると壊れにくいようです。

泣き所は肉の薄い上の突起の壊れやすさです。

さて膝の修理です。

基本的には、接着してステンレス線で補強する程度しかないのですが、今回はもう一段補強する事を考えてみました。



かさばらず、曲面にも柔軟に添って、強靱な素材は何か？ 思い付いたのは網戸用の網です。素材はグラスファイバーです。それをエポキシ系の接着剤で貼り固めてみました。両側に貼り付ければ、強くなってくれるのではないのでしょうか？

このバズが、再度入院して来なければ、うまく行ったという証しになるのでしょうか？



なお、百均には、このような網戸の補修用のシールが売られています。これも使えるのではないのでしょうか。

また、最近ステンレスの金網が手に入ったので、次の機会には、それを試してみようかと考えています。

以上